C-Bio通信

平成23年3月24日刊行

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センターニュース第6号（通算第17号）

「食」と「農」や「環境」に貢献する地域共同研究の推進
「しもつけバイオクラスター」第2・3・4回フォーラムを開催

「しもつけバイオクラスター」では、2010年６月に第１回のフォーラム（キックオフフォーラム）を開催しましたが、その後引き続いて、栃木県の重要農産物を主題として３回のフォーラムを開催しました。

第２回フォーラムは2010年10月29日に宇都宮大学農学部で「きのこ」を主題として行われました。このフォーラムでは茸に関する栃木県の現状や環境に配慮した茸の栽培技術、新たな茸の利用など、茸に関する幅広い話題が提供され、参加者は県内企業、県や市の関連機関、大学などから114名を数えました。またフォーラムの休憩時間を利用してきのこ汁を試食しながらの交流会も行われ、和やかな雰囲気の中にも盛会裏に終了しました。

第３回は2010年12月３日にトマトを主題として行われました。このフォーラムでは栃木県におけるトマト生産の現状をはじめ、トマトの新しい栽培法、トマトの健康効果、さらにはトマトのおいしい食べ方などの話題が提供されました。参加者は120名、また休憩時間にはトマト料理の試食を兼ねた交流会も行われました。

第４回は初年度最後のフォーラムとして2011年２月22日に市内のホテルを会場として開催されました。主題はお酒で参加者は90名でした。話題は世界標準でのお酒の評価法やお酒の新しい品質評価ラベルの開発、あるいは地元産の農産物を使った地ビール造り、次世代酒造技術者の育成、光技術を利用した清酒造りの定量化などが取り上げられ、技術的な話題だけでなく、お酒の持つ文化的な側面にも触れる話題が提供され、また交流会ではふだんはなじみの少ない珍しいお酒類の試飲も行われ大いに盛り上がりました。

交流会・試食会の様子

「しもつけバイオクラスター」のフォーラムは「食」と「農」、「環境」に関する最新の研究を紹介して参加者に役立ててもらうことも目的の１つですが、「クラスター（同種のものや人が集まる群や場）」としての仲間作りを促進するために、参加者同士の交流を大事にしています。そのため休憩時間などを利用してフォーラムの話題に合わせた食品の試食・試飲会を行い、親睦を図っています。回を重ねるごとに参加者同士の親密さが増し、フォーラムを通しての新しいコミュニケーションも醸成されつつあり、「場」としてのクラスターの形成の役に立っています。

「しもつけバイオクラスター」では、平成23年度も各種活動を予定しております。参加申込、会員登録（無料）のご希望の方は下記事務局までご連絡ください。

◆しもつけバイオクラスター事務局◆
〒321－8585　宇都宮市陽東７丁目１番２号
宇都宮大学地域共生研究開発センター内
TEL：028－689－7139　　FAX：028－689－6327
E-mail：u-city@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp
担当：矢島・塘（つつみ）
HP：http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/cluster/

第1回C-Bio Conferenceの開催

2011年２月24日に「若手が送る宇大バイオ研究の最先端」という副題を冠した C-Bio Conference を開催しました。

修士論文発表会は、審査としての側面もあり、それぞれの学科・コースの小さな単位で行われていますが、その内容は他の分野の人が聞いても興味深いものであるはずです。そこで、当センター関連教員の研究室の本年度修了生に発表を打診して、12名の学生（修士11名、博士１名）の修士論文・博士論文を発表してもらいました。参加者は、教育・農学部、工学研究科の教員、学部の２年生から大学院生、博士研究員まで記名されただけで44名の参加でした。発表内容も有機合成の話から、ウイルス、細菌、植物、昆虫、動物の話まで、 多岐にわたり、宇大のバイオ研究の活発さをうかがい知ることができました。今回、質疑応答の時間を多めに取り、全体的にゆったりとしたスケジュールの中で時間を気にせず活発な議論がなされた点はよかったと思います。普段雑務に追われている教員からは、「研究」の側面を刺激されるよい機会であったと好評でした。また、学生からも普段自分の所属コースの話しか聞けないところ、他の話が聞けて刺激的だったという感想をもらいました。今後に向けてはいくつか改善点も見つかっているので、毎年開催する方向で少しずつ修正しながらよい会にしていきたいと考えています。

お知らせ

★ゲノミクス研究棟利用者登録更新について（ゲノミクス解析部門・RI利用部門・動物部門）

平成23年度もゲノミクス研究棟を使用される方は３月中に登録更新をお願いします。

【学外の方】管理室（028-649-5527）まで、登録更新希望の連絡を下さい。担当教員に確認の上、登録を更新します。

【学内の方】C-BioのＨＰにある「利用登録申請」→「登録へ進む」から登録を変更して下さい。

《バイオサイエンス教育研究センター（C-Bio）ＨＰ》http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/

※修士課程に進学される方は４月に新しい学生証が発行され次第、登録更新して下さい。また、博士課程に進学される方は４月に宇都宮大学図書館カードが発行され次第、図書館カード番号で登録更新して下さい。

カードの有効期間延長など、ご不明な点等ございましたら管理室までお問い合わせください。

★DNA組換え実験申請のお願い

平成23年度の実験従事者の変更や新規に組換えDNA実験を行う方は、研究協力課へ大至急申請書の提出をお願いします。

平成22年度後半活動状況

シンポジウム・研究会

日　付	時　間	内　容	人 数
10/29（金）	14:00－17:00	しもつけバイオクラスター第２回フォーラム（主題：キノコ）	114名
12/ 3（金）	14:00－17:30	しもつけバイオクラスター第３回フォーラム（主題：トマト）	120名
12/ 7（火）	15:00－17:00	農水省競争的資金説明会	77名
12/10（金）	15:00－16:30	第７回C-Bioセミナー　講師：岡村正愛（キリンホールディングス㈱） 「バイオテクノロジーによる植物の多様性の誘導とその利用研究」	32名
１/21（金）	14:00－15:30	第８回C-Bioセミナー　講師：原田英美子（滋賀県立大学） 「元素イメージングによる植物の重金属耐性・蓄積機構の解明」	31名
２/22（金）	15:30－18:30	しもつけバイオクラスター第４回フォーラム（主題：お酒）	90名
２/24（木）	10:00－17:00	C-Bio Conference ～若手が送る宇大バイオ研究の最先端～	44名

講 習 会

日　付	時　間	内　容	人 数
10/21（木）	9:00－16:45	放射線障害防止のための教育・訓練	４名

高校生・中学生・小学生・一般向け講座

日　付	時　間	内　容	人 数
10/４(月)、11/15(月) 12/13(月)、１/24(月) ２/４(金)	13:30－15:30	宇都宮女子高校2年スーパーサイエンスハイスクール（SSH）	12名
10/16(土)、12/４(土)	13:00－16:00	科学実験講座「五感で学ぼう植物の不思議」	29名
10/ 3（日）	10:00－16:00	メダカDNA鑑定体験実習	14名
11/ 5（金）	13:30－16:30	群馬県立館林女子高校　出張講義	37名
12/28（火）	10:00－16:00	高校生向け遺伝子組換え実験講習会	14名
１/17（月）	13:30－15:00	日大東北高校　出張講義	約100名

施設見学

日　付	時　間	内　容	人数
10/ 1（金）	10:50－11:20	小山城南高校　１年	16名
10/ 7（木）	10:50－11:30	今市高校　１年	51名
10/14(木)	10:30－11:30	真岡高校	21名
１/18(火)	10:30－10:40	茨城県立岩井高校　２年 （環境調節実験棟）	14名

学生実験

日　付	時　間	内　容	人数
11/24(水)、30(火) 12/ 1（水）、 7（火） 8（水）、14(火)	12:50－16:00	応用生物学コース２年	27名
１/24(月)、27(木) 31(月)	12:50－16:00	植物生産学コース２年	34名

新規導入およびデモ機器説明会

日　付	時　間	内　容	人数
10/19(火)	15:00－17:00	ライフテクノロジーズジャパン 機器セミナー	17名

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター

Center for Bioscience Research & Education, Utsunomiya University

〒321-8505　宇都宮市峰町350　Mine-machi 350, Utsunomiya 321-8505, JAPAN

TEL:028-649-5527　　FAX:028-649-8651

http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/